

科目名 Course Name	ソーシャルワーク実習指導 I Guidance in Fieldwork of Social work I			ナンバリング No.	II-012		
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	佐藤 佳子						
連絡方法	C-Learning で対応。研究室は栄養棟3階。オフィスアワーは担当授業時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP2、DP3、DP5						
授業の概要と到達目標	<p>ソーシャルワーク実習の意義や目的を理解した上で、実習前に学ばなければならない内容を整理する。</p> <p>さまざまな施設や機関の現状を学習し、さらに社会人としての常識(身だしなみ・マナー)を身につけ、夏期休業中の体験学習へと結びつける。</p> <p>①ソーシャルワーク実習の意義について理解する。</p> <p>②社会福祉士として求められる役割を理解し、価値と倫理に基づく専門職としての姿勢を養う。</p> <p>③ソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ実践的に理解し、ソーシャルワーク機能を発揮するための基礎的な能力を習得する。</p> <p>④さまざまな施設や機関の現状を学習し、さらに社会人としての常識(身だしなみ・マナー)を身につけ、夏期休業中の体験学習へと結びつける。</p> <p>⑤実際に実習を行う実習分野(利用者理解)と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関して理解し、説明できる。</p>						
授業の方法	講義および演習。課題作成等。						
学習成果	L01						
	L02	実際に実習を行う実習分野(利用者理解)と施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する基本的な理解を深めるようにする。					
	L03	社会福祉士の倫理綱領と行動規範を学び、実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務(個人情報保護の理解を含む)を具現化できるようにする。					
	L04						
課題に対するフィードバック	質問や疑問は随時受け、授業内で回答・解説を行う。						
教科書/参考図書	「ソーシャルワークを学ぶ人のための相談援助実習」中央法規						
履修上の留意点やルール等	<p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</p> <p>欠席した場合は、内容をクラスメイトに確認し、書類や課題は次回授業までに科目担当教員まで取りに来ること。</p>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の視点で評価する。教科書等の準備をして授業に臨んでいる。ワークに意欲的に取り組んでいる。他者の発表を聴いたり意見や感想を述べ学び合うことができている。自己覚知に努め、社会人としての常識を身に着けている。		45		
レポート/作品	課題レポートと授業内で作成する小レポートと課題で評価する。S 評価の基準は、提出期限、指定の様式を守り、誤字脱字がない。講義やワークの意味を捉えて内容がまとめられていること。			50	
発表	実習種別に関するレポートを発表する		5		
小テスト					

試験				
その他				
合計			50	50

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の目標や方法、成績評価方法について説明) 短大(2年間)での学び(授業の構成、短大での学び方、ノートの取り方、レポートの書き方等)
	事前・事後学習	社会福祉士の仕事について事前に調べておく。
2	授業内容	実習及び実習指導の意義(スーパービジョンを含む。)
	事前・事後学習	テキストの該当ページを読む。
3	授業内容	多様な施設や事業所における見学実習
	事前・事後学習	大栗の里、見学の振り返りを記入して持参する。
4	授業内容	実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解①【視聴覚教材】「社会福祉士の仕事」【ワークシート】
	事前・事後学習	ワークシートの記入とふりかえり
5	授業内容	実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解②【視聴覚教材】「社会福祉士の仕事」【ワークシート】
	事前・事後学習	ワークシートの記入とふりかえり
6	授業内容	実習先で関わる他の職種の専門性や業務に関する基本的な理解
	事前・事後学習	各職種の法的根拠について調べる
7	授業内容	実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解③
	事前・事後学習	福祉小六法を使って、施設・機関の法的根拠についてまとめる。
8	授業内容	実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解④
	事前・事後学習	福祉小六法を使って、施設・機関の法的根拠についてまとめる。
9	授業内容	実際に実習を行う実習分野(利用者理解を含む。)と施設・機関、地域社会等に関する基本的な理解⑤発表
	事前・事後学習	発表についてのふりかえり
10	授業内容	実習先で必要とされるソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び記録方法に関する理解①
	事前・事後学習	社会福祉士の倫理綱領の読み込み、記録の書き方の復習
11	授業内容	実習先で必要とされるソーシャルワークの価値規範と倫理・知識及び記録方法に関する理解②
	事前・事後学習	社会福祉士の倫理綱領の読み込み、記録の書き方の復習
12	授業内容	実習における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解
	事前・事後学習	社会福祉士の倫理綱領の読み込み
13	授業内容	実習中に守るべきプライバシーの保護について【ワーク】
	事前・事後学習	ワークの振り返り
14	授業内容	夏期休業中の見学・体験学習について
	事前・事後学習	自分の地域の実習施設をリストアップする
15	授業内容	夏期休業中の過ごし方
	事前・事後学習	ソーシャルワーク実習指導 I のふりかえり